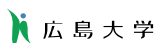


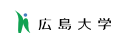
岡山プログラム小委員会報告

2009年岡山ユーザーズミーティング

広島大学 宇宙科学センター 川端弘治
 (国立天文台 岡山天体物理観測所 岩田生)



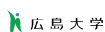
岡山プログラム小委員会 2009-2010



- 木下大輔 National Central University, Taiwan (2007-2010)
- 西浦慎吾 東京学芸大学 (2007-2010)
- 山下卓也 国立天文台 (2007-2010)
- 川端弘治 広島大学 (2009-2012) --- 委員長(2009-2010)
- 杉谷光司 名古屋市立大学 (2009-2012)
- 野上大作 京都大学 (2009-2012)
- 橋本修 県立ぐんま天文台 (2009-2012)
- 岩田生 国立天文台 (2009-2010) --- 幹事(2009-2010)

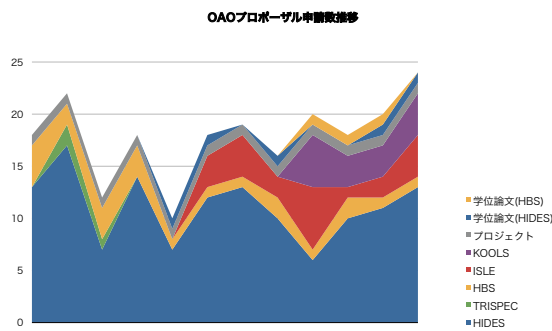
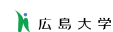
※比田井、青木、伊藤、中村、柳澤各氏は2008年度で退任

この1年の活動状況



- 2008年10月06日 2009A期プログラム・プロポーザル公募締め切り
- 2008年11月17日 プログラム小委員会、採択プログラム決定
 場所・時間: 岡山コンベンションセンター 9:00-15:10
 参加者: 比田井、青木、伊藤、木下、西浦、山下、柳澤、吉田、泉浦
- 2009年04月14日 2009B期プログラム・プロポーザル公募締め切り
- 2009年05月29日 プログラム小委員会
 場所・時間: 東京国際フォーラム 12:30-17:50
 参加者: 川端、木下、西浦、山下、杉谷、野上、橋本、岩田、吉田、泉浦、柳澤

プロポーザルの枠別・装置別申請数の推移



装置・応募枠別のプロポーザル申請数と採択数



	HIDES	TRISP EC	HBS	ISLE	KOOL S	プロジェクト	学位論文 (HIDES)	学位論文 (HBS)	合計	共同利用 実施夜数
2004A	9/13		1/4			1/1			11/18	
2004B	7/17	1/2	2/2			1/1			11/22	
2005A	7/7	0/1	3/3			1/1			11/12	
2005B	6/14		2/3			1/1			9/18	
2006A	7/7		1/1			1/1	0/1		9/10	109
2006B	7/12		1/1	2/3		1/1	0/1		11/18	112
2007A	7/13		1/1	3/4		1/1			12/19	121
2007B	6/10		1/2	2/2		1/1	0/1		10/16	111
2008A	5/6		0/1	4/6	3/5	1/1		1/1	13/20	122
2008B	6/10		1/2	0/1	2/3	1/1		1/1	11/18	107
2009A	8/11		0/1	2/2	2/3	1/1	1/1	1/1	15/20	(117)
2009B	7/13		1/1	2/4	2/4	1/1	1/1		14/24	(104+7)

採択数/申請数

分野別プロポーザル申請数



- 2009A期 (共同利用夜数117夜)
- Solar system 一般 2件
 - Star プロジェクト 1件
学生支援 1件
 - Star formation 一般 8件
 - Galactic 一般 4件
 - Extragalactic 一般 2件
- 2009B期 (共同利用夜数104+RS7夜)
- Solar system 一般 2件
 - Star プロジェクト 1件
学生支援 1件
一般 12件
 - Star formation 一般 5件
 - Galactic 一般 2件
 - Extragalactic 一般 1件

2008年11月プログラム小委員会 主な議事

- ・ プロジェクト観測1件、学位支援プログラム2件の審査
 - 学位支援1プログラムについて、2期の予定だったが天候不順を考慮し1期延長を認めた。また、その有効性を知るため修士論文を提出してもらう。(→その結果、無事データが取得でき、修士論文が完成。観測所へ提出済み)
- ・ 一般枠の審査
 - 12課題を採択
- ・ レフェリー・コメント集の見直し
 - 事前了承の徹底、委員会へのコメント非開示
- ・ 来期委員について
- ・ 学位支援プログラム
 - 次期委員会へ①評価方法の検討、②連続割り当て期数の事前決定の検討を申し送り
- ・ 昼間の観測
 - 夜間のシーイング悪化の可能性を懸念し、wind screen、エアコン稼働を奨励
 - 交代時刻の周知を所員に徹底

7

2009年5月プログラム小委員会 主な議事

- ・ 共同利用夜数
 - 申請課題数、夜数とも多いことを考慮し、整備期間14日夜のうち7夜をリスクシェア条件下で共同利用に充てることを了承
- ・ プロジェクト観測、学位支援プログラムの審査
 - 学位支援の有効性の議論が引き継ぎの検討課題となっているが、効果が見極められるほど時間が経過していないので、引き続き経過を観察
- ・ 一般枠の審査
 - 12課題を採択
 - 時期を指定した観測が多く、スケジューリングより若干の夜数の変動の可能性を了承
- ・ レフェリーの審査項目について
 - 絶対評価項目について、①科学的重要性、独自性、②Scientific justificationの明瞭性、③観測計画の妥当性(technical feasibility)の3項目を評価してもらうことに
 - その他、専門外の分野を審査するレフェリーの負担を軽減する方法、レフェリにはサイエンス面だけ評価してもらう方法等について意見を交わした
- ・ 配分夜数について
 - 恒星分野と銀河分野で別レフェリに分けていることの格差について議論
 - すばるなどと同様に分野ごとの申請課題数(夜数)に応じて配分することについて議論したが、恒星分野ではモニタ観測が多いこと、分野毎の申請課題数は変動が多いことなどを考慮して見送ることに

8

その他

- ・ 継続審議となっているレフェリー匿名制については、次回委員会で審議予定
- ・ レフェリー審査項目について、他のプロ小委(すばる他)と意見交換
- ・ 学位論文支援プログラムの有効性の判断は、事例が少ないため次回以降に先送り

おしらせ

これまで走っていたプロジェクト観測は2009年後期で終了するので、間もなくアナウンスする2010年前期では新たな課題を募集する(レフェリ審査に加えてヒアリングがある)
ただ、そもそもプロジェクトは最大二件となっているので、一本走っていても申請可能。

9